

〈事業報告〉

I 事業状況

1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（定款第4条第1項第1号）

〈第31回公開シンポジウム〉

(1) 開催日と場所：

令和5年10月29日（日）13時30分から16時30分

ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 大ホール（オンライン配信）

(2) 参加者： 160名

(3) テーマ： 連続テーマ「世界」の1回目として「宇宙科学の世界像と仏教的世界観」

(4) 基調講演：

・佐藤勝彦（学術振興会学術システム研究センター顧問・東京大学名誉教授）：

「宇宙のはじまり：進む初期宇宙の観測と残された謎」

・佐々木閑（花園大学特別教授）：「仏教の世界観：時間論と因果則」

(5) 討論：

・コメンテーター：日独文化研究所 理事・監事・評議員

2. 日独学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（定款第4条第1項第2号）

〈年報の刊行 令和5年度年報『文明と哲学』第16号〉

(1) 刊行月・出版社： 令和6年3月、現代思潮新社

(2) 編集代表： 安部浩理事

(3) 内容：

[特集] 伝統芸術の間文化性

【論考 I】

・わび茶と間文化性 美濃部 仁

・いけばなにおける「間」 珠寶 花士

・言葉の造形力 芭蕉とバルラハ 岡田 勝明

・書における間 「点画の間」をめぐる眼差し 萱 のり子

・今日の狂言について 楽園を垣間見る 関口 浩

・舞踏の現在 日本のポスト・モダンダンス？ 貫 成人

・雅楽の現代的キュレーション 木戸敏郎の方法論 小野 真龍

・浮世絵によって形成されたジャポニズムの間文化性 新関 公子

(対談)

・狂言師・茂山七五三に尋ねる 伝統と現代、身体性と文字文化、型と個性

対談： 茂山七五三 + 関口浩

司会：大橋良介

・間文化的美学の観点としての力

マティアス・オーベルト、訳：苧野美雪、出河咲

【論考II】

- ・ 仏教的「空」の情意とシャーマニズムの「自然」 ブラジル秘境の原住民部落で
大橋 良介
- ・ 詩的言語の形象とロゴス 後期西谷と後期ハイデッガー 秋富 克哉
- ・ エッセイ 静けさに耳を澄ます 命の音を聴く 和田 信
- ・ 恥辱という感情と恥辱的な制裁 日本版DBS制度への一試論 坂本 学史
- ・ ナチ政権下における福音主義教会の動向 K・バルトとB・ボンヘッフアーを中心に
加藤 希理子

[公開シンポジウム『文明』]

- ・ いかめしく節用を繰る名付親 "節用の日本文明"再考 横山 俊夫
- ・ 野蛮と文明の所有論 松村 圭一郎

〈成果報告集 『二十一世紀「文明論」の新機略——縦横に〉〉

(1) 刊行月・出版社： 令和6年3月、現代思潮新社

(2) 編集： 日独文化研究所

(3) 内容：

[序に替えて] 大橋良介

【第一部】 文明の起点

- ・ 第一章 文明は見えない世界がつくる 松井孝典
- ・ 第二章 ヒトは生態系の破壊者か創造者か 湯本貴和

【第二部】 文明の生成

- ・ 第三章 近代文明の生成と海 川勝平太
- ・ 第四章 野蛮と文明の所有論 松村圭一郎
- ・ 第五章 持続可能な法秩序の構築 高山佳奈子

【第三部】 文明開花——美術・芸術

- ・ 第六章 神々と人の姿 古代ギリシア・ローマ美術 芳賀京子
- ・ 第七章 宗教が生み出した美の世界 イスラーム美術 梶屋友子

【第四部】 日本文明の一隅を照らす

- ・ 第八章 いかめしく節用を繰る名付親——“節用の日本文明”再考 横山俊夫

3. 日独学術文化に関する講習会、講演会及び談話会等の開催（定款第4条第1項第3号）

〈哲学講座「盛夏講座」〉

(1) 開催日と場所：

第1講・令和5年7月6日（木）

第2講・令和5年7月13日（木）

第3講・令和5年7月20日（木）

第4講・令和5年7月27日（木）

第5講・令和5年8月3日（木）

第6講・令和5年8月10日（木）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室（オンライン配信）

- (2) 受講者： 43名
- (3) 講師：野家啓一（東北大学名誉教授）
- (4) テーマ：「ワイトゲンシュタインの知 Part II」

〈哲学講座「初秋講座」〉

- (1) 開催日と場所：

第1講・令和5年9月21日（木）

第2講・令和5年9月28日（木）

第3講・令和5年10月5日（木）

第4講・令和5年10月12日（木）

第5講・令和5年10月19日（木）

第6講・令和5年10月26日（木）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室（オンライン配信）

- (2) 受講者： 55名
- (3) 講師：美濃部仁（明治大学国際日本学部教授）
- (4) テーマ：「西田幾多郎 後期の哲学体系」

〈哲学講座「初春講座」〉

- (1) 開催日と場所：

第1講・令和6年2月15日（木）

第2講・令和6年2月22日（木）

第3講・令和6年2月29日（木）

第4講・令和6年3月7日（木）

第5講・令和6年3月14日（木）

第6講・令和6年3月21日（木）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室（オンライン配信）

- (2) 受講者： 34名
- (3) 講師：関口浩（早稲田大学講師）
- (4) テーマ：「ハイデッガー哲学と芸術」

4. 日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開（定款第4条第1項第4号）

〈所報の発行〉

- (1) 刊行年月： 令和5年10月（第12号）
- (2) 内容：

本法人の活動内容や事業報告を、一般の人々にもわかりやすいようにとりまとめ、賛助会員をはじめ、事業参加者などに配布。また、令和6年4月以降、本法人ホームページでも公開。

〈地下書庫の整理〉

内容：

地下書庫の蔵書を整理し、日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開のために活用できる空間を、所長の指揮のもとで整備している。蔵書数は令和2年3月31日現在で2,069冊であることを確認している。

5. 日独学術文化に関する研究者の招待、派遣及び交換（定款第4条第1項第5号）

〈ドイツからの招聘〉

- (1) 開催日と場所：
令和5年9月8日（金）14時から17時
追手門学院大学総持寺キャンパス 1階 A141教室
- (2) 参加者： 22名
- (3) 講師：クリスチャン・ブムケ（ブツェリウス・ロースクール教授）
- (4) 講演：「ドイツ国法学における憲法理論と憲法ドグマーティクの関係」

〈ドイツからの招聘〉

- (1) 開催日と場所：
令和5年10月26日（木）
京都大学文学部第3講義室
- (2) 参加者： 14名
- (3) 講師：ヴォルフガング・ヴェルシュ（イエーナ大学名誉教授）
- (4) 講演テーマ：「自然 vs 文化？」

〈仏教とキリスト教の自然シンポジウム〉

- (1) 開催日と場所：
令和5年11月6日（月）、7日（火）
テュービンゲン大学（オンライン配信併用）

令和5年11月9日（木）、10日（金）

デュッセルドルフ恵光ハウス（オンライン配信併用）

〈学術シンポジウム〉

(1) 開催日と場所：

令和6年3月18日（月）14時から18時

ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 小ホール

(2) 参加者： 30名

(3) テーマ：

「哲学——それは何であるのか」

(4) 提題：

・ロルフ・エルバーフェルト（ヒルデスハイム大学教授）

「広義と狭義の『哲学』について——あるいは、われわれは哲学するときに
何に定位しているか」

・ニルス・ヴァイトマン（テュービンゲン大学CIIS所長）

「哲学することは、見ることを学ぶことである——複数の行為的哲学への注」

● 公益事業別の事業実績の内容内訳（単位：円）

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

定款第4条	活動内容	謝金	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	その他	計
研究及びその助成	公開シンポジウム	256,151	6,706	60,000	22,764	99,000	84,289	528,910
図書雑誌の編集及び出版 刊行	年報	0	5,972	40,600	0	1,947,262	14,671	2,008,505
	シンポジウム成果	0	0	0	0	1,163,360	770	1,164,130
	所報・地下倉庫	0	0	0	0	60,500	0	60,500
講習会・講演会等	哲学講座	501,168	0	0	77,160	224,620	2,310	805,258
研究者の招待・派遣等	学术交流 自然WS		8,589	1,928,827	0	0	770	1,938,186
	学术交流	338,487	45,787	2,200			0	386,474
計		1,095,806	67,054	2,031,627	99,924	3,494,742	102,810	6,891,963
職員人件費他		0	0	0	101,875	0	3,264,342	3,366,217
合計		1,095,806	67,054	2,031,627	201,799	3,494,742	3,367,152	10,258,180

その他項目には、職員給料・法定福利費・消耗品費・支払手数料等が含まれます。

II 登記、届出、報告事項等

1. 令和5年6月26日 津野監事（以上、令和5年6月13日付辞任）の登記を行う。
2. 令和5年6月29日 内閣府に事業報告等に係る提出書を提出。
3. 令和5年8月26日 内閣府に監事の変更届出書を提出。
4. 令和5年8月31日 水野監事（以上、令和5年8月22日付新任）の登記を行う。
5. 令和5年10月11日 内閣府に監事の変更届出書を提出。
6. 令和6年3月27日 内閣府に事業計画等に係る提出書を提出。

Ⅲ 職務の概要

1. 役員の変動

- (1) 監事の辞任 津野紀代志 氏 (令和5年6月13日付)
 (2) 監事の新任 水野 友晴 氏 (令和5年8月22日付)

2. 理事・監事に関する事項 令和5年度 (令和6年3月31日現在)

理事定数 6名以上8名以内 現在 非常勤 7名 任期2年
 監事定数 2名以内 現在 非常勤 2名 任期2年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
理事 (理事長 (代表理事))	秋富 克哉	非常勤	理事就任： H26. 4. 1 代表理事就任： H28. 7. 4	R4. 6. 27 代表理事再任： R4. 6. 27	令和5年度に 関する定時評 議会の終結 の時まで	京都工芸繊維大学 基盤科学系教授
理事 (所長 (代表理事))	大橋 良介	非常勤	理事就任： H26. 4. 1 代表理事就任： H27. 10. 16	R4. 6. 27 代表理事再任： R4. 6. 27	令和5年度に 関する定時評 議会の終結 の時まで	京都工芸繊維大学 名誉教授 本研究所所長 (代表理事)
理事 (常務理事)	高田 篤	非常勤	H26. 4. 1	R4. 6. 27	令和5年度に 関する定時評 議会の終結 の時まで	追手門学院大学 法学部教授
理事	安部 浩	非常勤	R4. 6. 27	—	令和5年度に 関する定時評 議会の終結 の時まで	京都大学大学院 人間・環境学研究科教授
理事	小川 暁夫	非常勤	H26. 4. 1	R4. 6. 27	令和5年度に 関する定時評 議会の終結 の時まで	関西学院大学 文学部教授
理事	和田 信	非常勤	H28. 6. 22	R4. 6. 27	令和5年度に 関する定時評 議会の終結 の時まで	大阪国際がんセンター 心療・緩和科部長

理事	高山佳奈子	非常勤	R3. 2. 16	R4. 6. 27	令和5年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院 法学研究科教授
監事	齊藤 真紀	非常勤	R3. 2. 16	R4. 6. 27	令和5年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院 法学研究科教授
監事	水野 友晴	非常勤	R5. 8. 22	—	令和5年度に関する定時評議員会の終結の時まで	関西大学 文学部教授

(注) 役員は無給 (定款第28条)

3. 評議員に関する事項 令和5年度 (令和6年3月31日現在)

評議員定数 6名以上8名以内 現在 非常勤 7名 任期4年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
評議員	清水 扇丈	非常勤	R4. 6. 27	—	令和7年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院 人間・環境学研究科教授
評議員	初宿 正典	非常勤	H26. 4. 1	R4. 6. 27	令和7年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授
評議員	谷 徹	非常勤	R4. 6. 27	—	令和7年度に関する定時評議員会の終結の時まで	立命館大学文学部 名誉教授・特別任用教授
評議員	西川 伸一	非常勤	H28.10.10	R4. 6. 27	令和7年度に関する定時評議員会の終結の時まで	NPO法人オール・アバウト・サイエンス・ジャパン 代表理事
評議員	松丸 壽雄	非常勤	H26. 4. 1	R4. 6. 27	令和7年度に関する定時評議員会の終結の時まで	獨協大学名誉教授 ドイツ恵光日本文化センター所長

評 議 員	村井 俊哉	非常勤	R4. 2. 15	R4. 6. 27	令和7年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院医学研究科教授
評 議 員	森 哲郎	非常勤	H26. 4. 1	R4. 6. 27	令和7年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都産業大学名誉教授

(注) 評議員は無給 (定款第13条)

4. 顧問・名誉顧問に関する事項 令和5年度 (令和6年3月31日現在)

名誉顧問 現在 非常勤 4名

顧問 現在 非常勤 2名

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任 期	現職名
名誉顧問	千 玄室	非常勤	H29. 4. 14	—		裏千家大宗匠
名誉顧問	ヘルムート・シュヴァルツ	非常勤	H29. 4. 14	—		アレクサンダー・フォン・フンボルト財団前総長
名誉顧問	森 雅彦	非常勤	R5. 3. 7	—		DMG森精機株式会社取締役社長
名誉顧問	山極 壽一	非常勤	H28. 10. 10	—		大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所所長
顧 問	エンツィオ・ヴェッツェル	非常勤	R2. 2. 14	R4. 6. 27	令和5年度に関する定時評議員会の終結の時まで	ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 館長
顧 問	津野紀代志	非常勤	R5. 10. 9	—	令和5年度に関する定時評議員会の終結の時まで	公認会計士

(注) 名誉顧問については、任期の定めなし。

5. 研究員に関する事項 令和5年度 (令和6年3月31日現在)

研究員 現在 非常勤 3名 任期1年

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	採用年月日	任 期	備 考
研究員	坂本 学史	非常勤	R5. 6. 1	R6. 3. 31まで	
研究員	関口 浩	非常勤	R5. 6. 1	R6. 3. 31まで	

研究員	加藤 希理子	非常勤	R5. 6. 1	R6. 3. 31まで	
-----	--------	-----	----------	-------------	--

(注) 研究員は無給 (研究員規程第10条)

6. 職員に関する事項 令和5年度 (令和6年3月31日現在)

職 名	氏 名	就職年月日	担当事務	備 考
事務局長	丹羽 結花	R5. 4. 1	事務総括	
事務局員	樽田 勇樹	R5. 4. 1	事務補助	
事務局員	上田 有子	R5. 12. 1	事務補助	

7. 認可、許可、承認等に関する事項

特になし

8. 契約に関する事項

特になし

9. 賛助会員年会費、寄附金に関する事項

総 件 数	70件	総金額	403,500円
(内 訳)			
賛助会員年会費 (法人)	6件		150,000円
	(個人) 65件		253,500円
寄 附 金 (法人)	0件		0円
	(個人) 0件		0円

IV 役員会に関する事項

区分	開催年月日	議 事 事 項	会議の 結 果
理事会 (第41回)	令和5年5月29日	<p>1. 令和4年度の計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書を承認する件</p> <p>2. 令和5年度の研究員採用の件</p> <p>3. いざなみ監査法人との外部任意監査の契約を更新する件</p> <p>4. 定時評議員会を招集する件 〈評議員会の招集に関する事項〉 ・評議員会を書面によるみなし決議の方法で開催すること。 ・評議員会における決議事項以下の通りとすること。 ① 令和4年度の計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書を承認する件</p> <p>追加議案1. 津野紀代志監事の後任人事について発議する件（津野監事の辞任報告に関連しての追加議案）</p> <p>報告事項1. 理事長および所長の職務の執行状況についての報告</p> <p>報告事項2. 津野紀代志監事辞任の件</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
評議員会 (第19回)	令和5年6月13日	<p>1. 令和4年度の計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書を承認する件</p>	可決
理事会 (第42回)	令和5年8月7日	<p>1. 評議員会へ提出する役員候補者名簿を承認する件</p> <p>2. 令和6年度における研究員の採用計画を協議する件</p> <p>3. 評議員会を招集する件 〈評議員会の招集に関する事項〉 ・評議員会を書面によるみなし決議の方法で開催すること。 ・評議員会における決議事項を以下の通りとすること。 ①水野友晴氏を監事に選任（新任）する件</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>

評議員会 (第20回)	令和5年8月22日	1. 水野友晴氏を監事に選任（新任）する件	可決
理事会 (第43回)	令和5年10月2日	1. 津野紀代志氏を顧問に選任する件 2. 評議員会を招集する件 〈評議員会の招集に関する事項〉 ・評議員会を書面によるみなし決議の方法で開催すること。 ・評議員会における決議事項を以下の通りとすること。 ① 津野紀代志氏を顧問に選任する件	可決 可決
評議員会 (第21回)	令和5年10月9日	1. 津野紀代志氏を顧問に選任する件	可決
理事会 (第44回)	令和6年1月29日	1. 「日独文化研究所存続プロジェクト素案」 2. 令和6年度に特定費用準備資金を新たに設定する件。ただし、評議員会の承認を得ることを条件とする。 3. 令和6年度事業計画案及び予算案等を承認決定する件 4. 令和6年度に基本財産、最大10,000,000円、を取り崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件。ただし、評議員会の承認を得ることを条件とする。 5. 令和6年度の研究員採用の件 6. 事務局長を選任する件 7. 評議員会を招集する件 〈評議員会の招集に関する事項〉 ・評議員会を書面によるみなし決議の方法で開催すること。 ・評議員会における決議事項を以下の通りとすること。 ① 令和6年度に特定費用準備資金を新たに設定することを承認決定する件 ② 令和6年度に基本財産、最大10,000,000円、を取り崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

		報告事項1. 理事長および所長の職務の執行状況についての報告 報告事項2. 内閣府へ申請した「税額控除に係る証明申請書」を取り下げたことについての報告	
評議員会 (第22回)	令和6年2月27日	1. 令和6年度に基本財産、最大10,000,000円、を取り崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件	可決
理事会 (第45回)	令和6年3月11日	1. 令和5年度に特定費用準備資金を新たに設定する件。	可決

V 事業報告の附属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないため、附属明細書は作成を省略する。